

平成 25 年度事業計画の取組み方針および概要（案）

１．取組み方針について

第二次連携計画を踏まえ、第一次連携計画での継続事業の効果をさらに高めていくとともに、特に、第一次連携計画では十分な取り組みに至らなかった、恒常的な利用者層としての「通勤定期利用者の拡大」施策、栗生線サポーターズクラブ等を通じた「沿線地域が主体となった利用促進・乗車運動」の展開、中長期的な視点も含めた「駅中心のまちづくり」の検討に重点を置きながら、事業を進めていくこととする。

２．事業計画の概要

■計画事業費見込 24 百万円 ※具体施策（予定）は議案－２－１参照

（沿線 3 市：12 百万円、神戸電鉄：12 百万円）

なお、計画事業の内、創設予定の「地域協働推進事業費補助金」による国庫補助を受けた場合は、モビリティ・マネジメントを中心に事業規模を拡大し、補助金上積み分を含めた計画事業費見込は 30 百万円とする。

（１）通勤定期利用者の拡大

- ・栗生線通勤利用転換への働きかけ
（自治会広報誌や新聞広告、沿線企業の個別訪問等による「栗生線通勤カムバック補助金」の積極的なPR活動、住民・企業アンケートの実施 など）

（２）沿線地域が主体となった利用促進・乗車運動の展開

- ・持続的に鉄道利用が定着するような取り組み
（栗生線サポーターズクラブ組織による活動の展開、ノーマイカー通勤促進「栗生線乗ろうDAY（仮称）」の実施、沿線自治体職員等による利用率先行動、環境体験学習・七夕列車等の実施や地域活動等での利用啓発活動など）

（３）利用啓発・利用促進のための情報発信

- ・協議会活動への理解・協力の呼びかけ、ホームページ更新による分かりやすく、きめ細かなサービス情報の発信
（協議会だより、栗生線ご利用ガイドの定期発行、ホームページ更新による情報発信の拡充 など）

（４）効果的な利用者増加のための集客企画・イベントの実施

- ・沿線資源を活用した企画、地域・市民活動と連携した取り組み
（沿線店舗と連携したグルメラリー企画乗車券や地域祭りと連携した企画 など）

(5) 既存施設・設備等を活用した利用促進施策の継続

(シニアパス、企画乗車券販売機、パークアンドライド駐車場、駅 PR 放送設備、
など)

(6) 駅を中心としたまちづくりの推進

・ 駅周辺への都市機能等の集約と駅周辺の賑わい作り

(地域特性に応じた住宅地・事業用地の形成、駅周辺への市民サービス施設の誘致・
集約化の検討、駅周辺の商店街の活性化 など)

平成25年度事業計画の項目		事業計画のメニュー		事業の概要	具体施策
(1)	通勤定期利用者の拡大	1	粟生線通勤利用転換への働きかけ	沿線住民や沿線企業等に対し、導入した通勤定期利用転換促進支援制度「粟生線通勤カムバック補助金」の活用を中心に通勤利用転換を働きかける。	・沿線自治会へのPRチラシ配布や新聞広告を活用した「粟生線通勤カムバック補助金」の活用PR及び補助金活用に関する住民・企業向けアンケートの実施
(2)	沿線地域が主体となった利用促進・利用啓発活動の展開	2	沿線地域が主体となった利用促進・乗車運動の展開	粟生線サポーターズクラブ組織を中心とした会員誘致や会員のボランティア活動(駅美化、植栽等)による利用促進・啓発活動を展開する。	・粟生線サポーターズクラブ活動の展開(会員交流会、会員と協働したイベント運営や駅美化の実施 など) ・ミュージアムトレインを活用した活動情報の発信
		3	沿線企業・学校・自治体・住民へのモビリティ・マネジメント 沿線自治体職員等による公共交通利用率先行動	沿線住民への公共交通利用情報の提供や、沿線の学校・企業・自治体職員等への粟生線利用促進を訴えかけるツールやプログラムの継続的な企画・実施のほか、ノーマイカー通勤促進デーの実施等により、公共交通利用行動を呼び掛ける。	・沿線住民向けTFPのフォローアップ(ワークショップ、動機づけ冊子、コミュニケーションアンケート等) ・ノーマイカー通勤促進デー「粟生線乗ろうDAY(仮称)」の創設と実施
		4	小・中学校校外学習利用促進	利用を呼び掛ける学習プログラムを盛り込んだ粟生線沿線等での農業体験の郊外学習プランを企画・実施するとともに、学校団体の利用誘致と利用啓発を図る。また、沿線幼稚園との協働による七夕列車・クリスマス列車を引き続き実施し、マイレール意識の向上と利用促進を図る。	・農業体験等の校外学習企画の提供 ・七夕列車・クリスマス列車の運行
		5	沿線イベントへの公共交通利用促進 (沿線イベントへの旅客誘致)	粟生線沿線の祭りなどの集客イベントに合わせて、サポーターズクラブの会員誘致や公共交通利用を促すPRや企画乗車券の発売するとともに、沿線イベントにおいて、ミニトレイン等を活用した利用促進PRキャンペーン等を実施する。	・三木金物まつり、小野陣屋まつり等の沿線主要催事での利用啓発活動や旅客誘致PR ・ミニトレイン・キャラクター着ぐるみを活用した利用促進PR活動の実施
(3)	利用啓発・利用促進のための情報発信	6	鉄道関連イベントの開催 (利用者交流イベントの開催)	利用啓発や地域参加の要素を組み込んだ「トレインフェスティバル」や「ミステリートレイン」などの集客イベントを実施し、ラッピング列車も活用して鉄道の魅力をフルに活かした効果的な旅客誘致と利用啓発を図る。	・トレインフェスティバルでの利用啓発・地域連携イベント実施 ・イベント列車の運行(ミステリートレイン) ・ラッピング列車の活用
		7	協議会活動・営業情報の提供 (利用啓発への理解促進) (サービス情報・沿線情報の発信)	粟生線沿線や神戸方面等のおでかけスポットや、企画きっぷ等の情報、協議会の取り組み等を紹介する「おでかけガイド」、「粟生線活性化協議会だより」を制作・配布し、スタンプラリー等の集客イベントとも連動して新規利用の誘発を図る。また、ホームページによる情報発信を通じて、より広域からの旅客誘致を図る。	・「粟生線活性化協議会だより」の制作・配布(年4回) ・「粟生線ご利用ガイド」の制作・配布 ・協議会ホームページ更新による情報発信機能の強化
		8	接続バス情報の提供	駅と周辺施設や住宅地を結ぶアクセスバス路線について、路線図や時刻表等の情報提供を行い、バスと鉄道の一貫した輸送サービスの向上を図る。	・バスアクセスマップ制作・配布
(4)	効果的な利用者増加のための集客企画・イベントの実施	9	企画きっぷの充実と効果的なPR活動	企画乗車券の効果的なPRを行い、潜在的な利用者の掘り起こしを図る。	・シニアパス、おもてなしきっぷ等の企画乗車券のPR(チラシ・ポスター等)
		10	沿線観光資源を活用した利用促進イベントや地域活動と連携したイベントの実施	粟生線沿線の観光資源や地域物産の魅力を伝えるとともに、沿線店舗と連携したグルメラリー企画を実施し、沿線地域と一体となって観光利用者の増加を図る。また、フォトコンテストや演奏会など、鉄道を利用した沿線各地域の交流イベントを企画し、地域交流を通じた鉄道利用促進を図る。	・沿線グルメラリー企画の実施(夏・秋) ・地域の文化・スポーツ活動等の交流イベントの実施
(5)	既存施設・設備等を活用した利用促進施策の継続	11	利用しやすい駅・快適な駅づくり	快適な待合環境の整備や、企画乗車券の常時販売による駅の利便性向上をPRするとともに、PR放送設備による駅でのタイムリーな利用啓発・サービス情報の提供を行い、利用機会の増加を図る。	・企画乗車券販売機利用のPR(小野、三木、恵比須、緑が丘、栄) ・駅PR放送設備による各種情報の提供
		12	パークアンドライド促進	自動車アクセスによる鉄道利用者を確保し、潜在需要の掘り起こしと、現行の駅勢圏の拡大による粟生線の利用者増を図る。	・時間貸パークアンドライド駐車場の利用促進(小野第1・第2、三木、恵比須、広野ゴルフ場前、押部谷:計97台)
(6)	駅を中心としたまちづくりの推進	13	地域特性に応じた住宅地・事業用地の形成 駅周辺への市民サービス施設の誘致・集約化の検討 駅周辺の商店街の活性化	駅と行政サービス施設等の複合施設化や駅周辺の既存の店舗や商店街との連携による賑わい拠点の創出し、駅周辺人口の増加を図る。	・駅周辺商店街と連携したイベント及び企画乗車券等の検討 ・駅周辺の賑わいを創出するフレンドショップやサポーターズクラブ関連施設等の設置検討

(注) ※ 上記事業の実施・運営については、神戸電鉄の設備や敷地を利用すること、神戸電鉄が従来から行っている事業との整合を図る必要があること、各事業間での調整・連携のため統合的な管理・運営が必要であること等の理由から、原則として協議会から神戸電鉄へ委託するものとします。

※ 上記の事業計画について、事業の実効性や関係先との調整状況により、実施時期や事業の詳細内容について、連携計画の枠組みの中で見直しを行う場合があります。